

地方の中の地方にあって

直方バプテストキリスト教会牧師
原口悦子



2012年に新会堂を建設し、はや3年が過ぎました。この建築は、教会内の献金だけではなく、全国からの支援をいただいて果たすことができました。この経験は、教会が孤立していないことを実体験させていただく機会となりました。

直方教会は65年の歴史の中で度重なる無牧師の期間を経験し、その間も地方連合や諸教会の協力をいただいて、礼拝を欠かすことなく続けてくることができたことを感謝しています。規模としては小さい教会ですが、常に他教会や地方連合、連盟に対しては開かれた視点を与えられた教会です。

また、今年の宣教支援センター設立以前から、伝道委員会の活動の中で、芦屋教会との合同祈禱会を続けています。当初2年間は毎月1回、今年度より2か月に1回開催しています。芦屋と似通った点がありますが、教会の課題はそれぞれ違います。お互いの祈りの課題を出し、祈りあうというこの積み上げの経験は、教会にとって貴重な宝になっています。

また2か月に1回、若松教会から「讚美研修」で、講師を派遣していただいています。讚美を豊かにしたいという願いはあるのですが、教会音楽に秀でた人材が少ないので、支援していただいています。バプテスト教会は、各個教会主義が原則ですが、どうしても規模の小さい教会は、出来る事を出来る人でやってみようとする、じり貧になっていく事が否めません。出来ないことに助けを要請する事は、教会の連帯の中であって良いことではないでしょうか。

このような働きを進める中で、宣教支援センターの設立に対して、教会においては、「相談するところ、利用するところが出来た」という思いがあります。地方の中の地方においては、新会堂を建てても、様々なプランを打ち上げても、手応えがないことが多いのが現状です。しかし、福音を必要としている人へ届けることは私たちの使命ですから、知恵を絞ってその業に励みたいと願っています。

◇教会訪問記◇ 最終回

㊹ 東八幡教会 .. 8月23日 (日)



今年で創立 60 周年を迎えた東八幡教会。その記念事業である新教会堂建築。そのプロジェクトは 2009 年から 2014 年夏に至るまで足かけ 5 年。祈り、話し合い、チャレンジの連続だったそうです。旧牧師館を残すか、牧師館とも新築するかを巡って意見が分かれ、建築委員会ではそれぞれのケースについて参考物件を見に行き、その結果全面建て替えという決断が得られたとか。著名な建築家である手塚貴晴・由比ご夫妻の仕事に惚れ込んで、奥田知志牧師と 4 人のメンバーが上京、直談判。最良の設計者との出会いが与えられ、幾度となく話し合いが重ねられ、ついに昨年 8 月竣工。「腰に手ぬぐい・他者のための教会」を目指す東八幡教会の理念が形をとって現れたかのような新教会堂は、既に「軒の教会」という愛称も定着して、人々の出会いの場となっています。建築委員長の菊岡義修兄は「東八幡教会のミッションにかなう会堂を建てることによって、みんなの絆がより深くなりました」と語られました。

宣教支援センターのサポート教会になる、ということについても、「分からないながらもやる」ことを大事にしてきた東八幡教会だからこそ得られた決断だったとか。身の引き締まる思いとともに、東八幡教会の皆様のご理解ご支援に改めて感謝いたします。

㊺ 光教会 .. 8月24日 (月)



光教会の起源は、1965 年八幡厚生病院のアルコール依存症患者への病院伝道の働きに遡り、その後 1978 年、荒瀬昇先生がシオン山教会の牧師をしておられた時代に、現在地に伝道所が設けられました。

2005 年に教会の働きについて総括を行い、ひとまず病院伝道に終止符を打って、今後は地域と共に歩む教会へと大きく舵を切られたそうです。現在、荒瀬謙二牧師を中心に 6 名前の方々に主日礼拝を守っておられます。今年 8 月の台風では、表看板が飛ばされ破損するという被害があり、修復工事をされたと伺いました。

光教会が今一番願っていることは、他教会との交流に開かれていくことだそうです。9 月 21 日に行われた第 1 回北九州連合ソフトボール大会。宣教支援センター開所式の翌日にもかかわらず 60 名近い参加者があり大いに盛り上がりました。その応援席に荒瀬謙二牧師のお姿がありました。連合に連なる教会との交流を求めておられる思いを試合観戦のお姿を通して見せていただいた思いが致しました。

年内最後の 12 月 27 日 (日)、私は光教会の礼拝に出席させていただく予定にしています。メンバーの皆様方との出会いを楽しみにしています。

②⑥ 高須教会 ..8月26日(水)



高須教会は来年で宣教開始 30 周年を迎えます。当初は緑豊かな新興住宅地であった高須地区も、歳月とともに子育てを終えた世代の方々が目立つ地域に様変わりしてきたとか。しかしながら、高須教会には小さなお子さんの礼拝出席が増えており、また教会学校の中高科には西南女学院高校の生徒が3名通っています。

年間行事も多彩な高須教会。バザーは年2回のペースで行い、2ヵ月前からメンバー各々担当地域にチラシを配布。地道な準備作業を続けておられます。バザーの他に、手づくりコンサート(9月)、コスモスコンサート(10月)など、音楽活動が盛んなことも高須教会の特徴です。主日礼拝では、プログラムの前に必ず賛美練習の時間が持たれます。教会に来て間もない方でも賛美に加わることができるように、との配慮が生かされています。

いっぽプログラムが実を結んで、富野教会と年1回の合同野外礼拝を続けている他、聖歌隊の交流も行われています。センターニュースの教会訪問記で芦屋教会のことを知り、車で5分という近さもあり、芦屋教会との交流を始めてみたいという思いが、三上渡牧師とメンバーの間で分かち合われているそうです。新たな教会間交流の誕生に、自ずと期待が湧きます。

宣教開始30周年を迎えたその先に、どのような幻を描いていくか。修養会などを通して、祈りつつ心をひとつに歩んで行きたい、とのことでした。

②⑦ 折尾教会 ..9月2日(水)



折尾教会は、JR折尾駅近く国道199号線沿いのにぎやかな場所にあります。折尾駅周辺は、ミッションスクールの折尾愛真学園を始め小・中・高校が林立する文教地区。毎週主日礼拝に訪れる中高生のために、折尾教会では各々の名札のついた週報棚を用意しています。その裏には、「たとえクリスチャンになっていなくても、自分の教会という意識を持って通って来て欲しい」という思いがあることを、内村茂臨時牧師は語られました。内村臨時牧師は遠方にお住まいのため、そのお働きをカバーするため、鈴木茂美姉が教会主事として仕えておられます。

折尾教会の歴史は古く、1949年に八幡教会折尾伝道所としてスタート。1952年には会堂が設けられ現在まで大切に維持されています。市街地にあつて敷地は広く、駐車スペースも十分に確保されています。しかしながら現在折尾教会もやはりメンバーの高齢化という課題に直面しています。教会周辺はマンションが多く建ち並び、30代・40代の方が教会を訪れることも少なくないのですが、3年程で転勤となり、折尾教会のメンバーとして定着するに至らないのだそうです。

人々が行き交う交通の要所に今日も立つ折尾教会。専任牧師を迎え、教会に与えられた使命を果たすことができますように。内村臨時牧師を中心に、まさに備えの時にある折尾教会を覚えて祈りたいと思います。

■教会アンケートの報告

6月にお願ひした教会アンケート。18教会からの回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。センターニュース第3号に中間報告を掲載しましたが、寄せられた全ての回答から見えてきたことを改めてご報告いたします。

1. 礼拝出席人数を増やしていきたいという回答が最も多く寄せられた。
2. 他者に対する関心が強い教会ほど、教会の目指す方向性が明確になっている。
3. 会計ソフトの導入や特伝のチラシデザインなどの支援の要望が数多くあった。
4. 教会学校の子どもの数が少なくなり、運営に苦労しているとの記述が複数あった。
5. 連合内の信徒の交わりの機会を設けてほしいとの要望もあった。

■センター支援献金

教会を元気にするために、また地域協働によって連合を活性化するために発足した宣教支援センターは北九州連合 28 教会のためにあります。その働きは皆様から寄せられるセンター支援献金によって賄われています。その使途は、主事の教会訪問などの交通費や連絡のための通信費。センターニュース発行や全国諸教会伝道所への広報に関するものなど多岐にわたります。2015年度上半期の献金額は 18 教会より 1,177,100 円がささげられました。心より感謝申し上げます。

12月1日現在171口のお申し込みをいただいておりますが、宣教支援センターの働きを知り協力をしたいという方を新たに募っております。各教会に推進担当になってくださっている方がいらっしゃいますので、どうぞお申し出ください。献金額は一口月額千円です。宜しくお願ひ申し上げます。



■編集後記

待降節を迎えました。クリスマスの準備に心躍る季節です。私は、6月3日の防府教会から9月2日の折尾教会まで、27教会の訪問記を今年中に全て掲載することができ、ホッとしております。行き、出会い、話すことがいかに大切であるか。今さらながら再認識した半年間であります。迎えてくださった各教会の皆様は改めて御礼申し上げます。

現在は、各教会の礼拝出席と並行して様々な案件が同時進行中です。みことばに励まされて、皆様の祈りに支えられて、来たる年も与えられた働きに誠実を尽くす所存でございます。どうぞ宜しくお願ひ致します。それでは、良いクリスマスを！

(齊藤弘司)

発行日	2015年12月10日
発行責任者	山田 雄次
発行所	
	〒805-0015
	北九州市八幡東区荒生田 2-1-40
	東八幡キリスト教会内
	連合宣教支援センター事務局
	TEL & FAX (093)651-6669